

## 事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	8 元気で豊かな農林水産業を育てる	事業群主管所属	農林部農政課
施策名	(4) 地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり	課(室)長名	福田 修二
事業群名	① 地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり	事業群関係課(室)	林政課

### 1. 計画等概要

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

##### 《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

地域別に産地の面的拡大や生産・流通・販売対策を軸としたしっかり稼ぐ仕組みを構築し、地域資源を活かした新たなコミュニティビジネスの展開など、農林業・農山村全体の所得向上を図ります。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値 (H25)	実績 (H26)	達成率	【進捗状況の分析】
農業・林業産出額	1,650億円	1,505億円	1,543億円	—	<p>・平成26年の農業産出額は1,477億円で、ここ10年(H26/H16比)で、全国では96.0%と減少しているが、本県は108.9%と増加し、全国1位の伸び率。また、前年度(H25:1,444億円)と比較すると、耕種部門では、米・果実の産出額が減少したものの、いも類、野菜の増加により6億円の増加、畜産部門では価格上昇により豚、鶏、肉用牛、乳用牛などの産出額が増加したことにより27億円の増加となったことから、産出額は33億円の増となった。</p> <p>・林業産出額は、全国的に増加傾向にある中、本県においても木材の生産量の増加や輸出の増加等により前年度(H25:61億円)よりも5億円増の66億円となった。</p>
事業群の進捗状況					

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

##### 《取組項目及び現状と課題》

・産出額は増加傾向にあるが、産出額に占める所得の割合は全国と比較して低いことや、農業従事者の高齢化や担い手の減少により生産基盤の縮小や農山村集落の機能低下が危惧されるなか、地域の賑わいの創出のためには、地域に良質な雇用の場を創出し、農林業・農山村全体の所得を確保する仕組みづくりの強化が必要。

## 2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				事業の成果等	中核事業	
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績			達成率
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—			—
<p>本事業群は地域別・品目別・産地別に生産・流通・販売対策・担い手対策を組合わせた取組をすすめ、農林業・農山村全体の所得向上を図るといふ農林業全体に関わるものであり、具体的な事務事業の取組実績については、それぞれの事業群に記載。</p> <p>【関係する主な事業群】</p> <p>戦略6：産業を支える人材を育て、活かす            施策(2)：地域に密着した産業の担い手の確保・育成            事業群 ①：農林業における新規就農・就業者の増大                      ②：農林業における個別経営体の経営力強化                      ③：地域における農林業生産を支える多様な担い手の確保・育成</p> <p>戦略8：元気で豊かな農林水産業を育てる            施策(3)：農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化            事業群 ①：品目別戦略の再構築                      ②：品目別戦略を支える加工・流通・販売対策                      ③：地域資源を活用した農山村地域の活性化                      ④：担い手確保のための生産基盤の整備</p> <p>施策(4)：地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり            事業群 ②：農山村地域の暮らしを支える環境整備</p>														

## 3. 検証及び問題点の抽出

### 【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

具体的な事務事業の実績・検証については個別の事業群調書に記載

## 4. 29年度実施に向けた方向性

### 【問題点解決に向けた方向性】

具体的な事務事業の見直し内容については個別の事

### 【個別事務事業の見直し】

事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分